

あなたの身近に 防災士!!



下呂市には、100名を超える防災士が活躍しています。
防災について知りたい方は、防災士にご相談ください。

下呂市は、地域の防災力向上のため、防災士の育成を推進しています。
現在、防災士の資格を取得している方は100名を超え、自らの地域の減災に一役買っていたいでいます。

また、昨年7月1日には、下呂市在住の防災士による「下呂市防災士会」が発足し、地域防災が強化されました。

下呂市の安心安全の地域づくりでは、欠かせない存在になっている防災士。その活動をご紹介します。

【総務部・防災情報課】

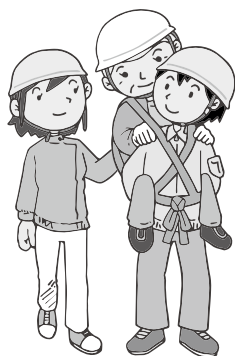
防災士って？

防災士とは、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する民間資格を取得した人のことです。「自助」「互助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する方です。

1995年に発生した阪

神・淡路大震災では6434人もの尊い人命が失われ、経済被害は約10兆円にものぼりました。この震災で明らかになったことは、「事前の防災対策」と「災害発生時の応急対応（減災活動）」の両面について「全国民的な備えが必要」だということです。

この教訓を活かすために、地域防災力の向上を担う新しい民間の防災リーダーを飛躍的に拡大・養成することをめざして、特定非営利活動法人日本防災士機構が設立され、2003年10月に初めての防災士が誕生し、防災士制度がスタートしました。



防災士はこんな地域貢献を行っています。

「自宅」「職場」「地域」の3つの分野について、防災・減災に取り組んでいます。

【自宅の】 防災・減災

まず、我が家の安全を図ることです。家の地盤や耐震性の確認、耐震補強、家具固定、備蓄品の用意、家族の安全確認の方法の周知、避難所や避難路の確認、また風水害に対しては排水溝や側溝の清掃、雨戸の確認、土のうの準備など、事前に備えることで被害を軽減できることがたくさんあります。自宅が災害によるダメージを免れる（減災）ことは地域の安全確保、二次災害の拡大防止にもつながります。「自分の身は自分で守る」ためにも、とても大切な取り組みです。また、家族で災害への備えについて話し合い、災害時の家族間の打ち合わせを充分に行うことも大切な取り組みです。

【職場の】 防災・減災

会社・事業所の理解を得て、建物の耐震性など自宅対策と同様の安全対策に取り組んだりする方もいます。いざというときに備えた災害対応マニュアルなどの立案などに知識が役立ちます。

【地域の】 防災・減災

消防団、自主防災組織、ボランティア組織など、地域には防災・減災に対応する仕組みがあります。マンパワーや知識、経験の不足などの理由から、十二分に機能しているとは言い難い面があります。防災士として、こうした仕組みや組織に平時から積極的に参加して、住民同士が日頃から顔見知りとなっていることが災害時には大変役立ちます。こうした住民同志の連携に一定のリーダーシップを発揮することが、非常に大きな地域貢献となっています。



あなたも、 防災士になりませんか？

下呂市では、市民の防災士資格の取得補助を行っています。

防災士となり、「地域へ貢献したい」とお考えの方は、下呂市防災情報課までお問い合わせください。

問合せ先／総務部防災情報課

☎ 24-2222(内線 271)

……下呂市防災士育成事業補助金……

○補助対象者

下記のいずれにも該当し、市内に住所を有する方。

1. 防災士機構が認定した研修機関で、かつ、防災士機構が定める研修カリキュラムに基づく防災士研修講座を受講する方で、受講した日の属する年度内に防災士資格取得試験に合格し、認証登録を受けた方
2. 防災士の資格取得後、防災士として市内の自主防災組織等で活動する意思のある方
3. 防災士の資格を取得した情報を、市内の自主防災組織等に提供することに同意する方
4. 防災士の資格取得に関し、他の助成制度による財政的支援を受けていない方または受ける予定がない方
5. 防災士の資格取得に関し、属する自治会の推薦を受けている方

○補助対象経費

講座の受講料、防災士資格取得試験受験料、防災士認証登録料

○補助金の額

補助金の額は、補助対象経費の合計額

※この補助金の交付を受けた方は、積極的に地域の防災活動や市が実施する防災施策に協力しなければなりません。

下呂市防災士会

地域間の防災知識などの連携や、多人数で行うと効率が良い防災活動などに取り組むため、下呂市在住の防災士による「下呂市防災士会」が組織されました。下呂市の広大な土地に対応するため、北、中、南支部の3つに分けられています。

これまでに取り組んだ活動には、イベントでの防災パネルの展示や防災訓練への参加などがあり、住民への防災意識の高揚や知識の向上に尽力されています。

設立から1年が過ぎ、会員数は当初の70名から100名を超え、今後も地域の防災力向上に、防災士会のみなさんの活躍が期待されます。

下呂市防災士会の基本理念

- 一、我々は、自助・共助・共同を自ら実践し、地域の減災と防災力向上に努める。
- 一、我々は、防災士として、常に防災知識と技術の習得に研鑽する。
- 一、我々は、下呂市の防災文化の構築に努め、後世に継続する。



▲ イベントで、防災についてのパネルを展示
＝ 下呂交流会館



▲ 地域住民へ三角巾について実技講演
＝ 金山町下原ホール



▲ 地域住民へ応急担架の作成を実技
＝ 金山町下原ホール



▲ 防災士会発足記念式典にて講義を受ける会員
＝ 下呂市民会館



防災士会にお聞きしました

下呂市防災士会 会長
かねこつねき
金子恒紀さん(金山町金山)



「下呂市防災士会では、支部や個人の活動の情報交換の場となり、市内の防災士全員が勉強しスキルアップしていきたいと思っています。また、市民の皆さんにもっと防災士を知っていただき、防災士会に加入していただきたいと思っています。」

下呂市防災士会北支部 副支部長
ふたむら
二村チズ子さん(萩原町上村)



「防災士会にも女性メンバーが増えてきました。災害が発生し、避難所を設置する場合には女性目線で避難所を運営するとういとの話もあります。また、女性だから気づくこともたくさんあります。そのようなことから、下呂市防災士会に女性部会のようなものを立ち上げていきたいなと思っています。」